

第2回八潮市庁舎建設基本計画策定審議会 議事録

開催日時	平成30年8月20日(月) 午後1時30分から3時20分まで	開催場所	市役所3階 委員会室
出席者 〔敬称略〕	(1号委員) 石井保、大森真理子、佐藤真貴 (2号委員) 齋藤友之、作山康 (3号委員) 内田亜希子、金内美智留、齋藤勝、高橋秀夫、昼間竹雄、廣瀬健一 古庄正登、三ヶ島幸生		
欠席者 〔敬称略〕	(1号委員) 前田由美子 (2号委員) 山田あすか	傍聴者数	11人
審議内容及び審議結果の概要	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>《八潮中央公園の視察》</p> <p>3 第1回審議会議事録内容の確認 ※事務局説明、内容について了承</p> <p>4 議 事</p> <p>(1) 前回(第1回)審議会のふりかえり ※事務局説明</p> <p>(2) 議題</p> <p>①複合化・集約化を検討する公共施設機能について ※①事務局説明</p> <p>②新庁舎建設候補地の検討について ※②事務局説明、概ね事務局案について了承いただき、候補地としての考え方などについてご意見をいただいた。</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉 会</p>		
提供資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・席次 ・第1回審議会議事録(案) ・八潮市新庁舎複合・集約化方針 ・第2回八潮市庁舎建設基本計画策定審議会説明資料 ・参考資料：保健センター 各階見取図・面積表 ・別紙：新庁舎建設候補地の検討 		

【議事詳細】

第2回八潮市庁舎建設基本計画策定審議会

1 開会

2 会長あいさつ

《八潮中央公園の視察》

3 第1回審議会議事録内容の確認

※事務局説明、内容について了承

4 議 事

(1) 前回(第1回)審議会のふりかえり

事務局	資料に基づき説明
-----	----------

(2) 議題

①複合化・集約化を検討する公共施設機能について

事務局	資料に基づき説明
委員	一般の方が入ることができる場所と職員だけが入れる場所はどこか。子ども連れの方のためにミルクをつくれる場所などは考えているか。
事務局	基本的には保健センターは一般の方が自由に入れるようになっている。休日診療所には休日以外に入れない。子ども連れの方への対応としては、共用部にベビーベッドを置いている。子どもの検診を行う2階には授乳室を設置している。子育てひろばを利用する方に対しては子育てひろば内にスペースを設けている。また、健康マイレージ関連の機器や血圧計、体組成計などの機器を1階の一角に設置し、健康づくりの啓発のため自由にご利用いただいている。
委員	保健センターを集約化して庁舎と共有できる機能はあるのか。また、保健センターとして必ず残す必要のある機能はあるか。休日診療所など、開所時間が異なる点はどのように考えるか。
事務局	共有できる部分はあると考えている。開所時間が異なる部分については、セキュリティを考慮して検討していきたい。
事務局	保健センターで実施する事業の方法が変わってきている。現在、予防接種は病院での実施となり、がん検診等については委託化し、保健センター内で撮影していたレントゲンは検診車のバスが来て実施している。そのため、使用しなくなった部屋もある。現在の実施事業に合わせ、利用している部分については今後も継続して必要となる。
議長	会議室等は兼用の可能性があると考えている。子育てひろばについても庁舎の託児所としても利用できるのではないかと考えている。これから詰めていく段階と考える。

②新庁舎建設候補地の検討について

事務局	資料に基づき説明
委員	駐車場は平面駐車になるのか。立体駐車場の可能性もあるのか。
事務局	まだ検討段階だが、事業費を考えると平面駐車場が望ましいと考えている。ただし、今後、

	配置などとあわせて検討していく。
議長	設計段階に入らないと分からない部分もある。通常は地下駐車場をつくるとコストが高いが、免震構造とすると免震層を活用した地下駐車場もあり得る。総事業費がそれほど膨らまないのであれば、駐車場の形態も検討の余地があると考えられる。
委員	現在は道路が狭く入りにくい。川越の庁舎は入りやすい。現在の信号のない三叉路は危険だと思う。庁舎に入る場所の安全が確保されていなければいけない。まずは道路状況を整備するのが優先ではないか。
事務局	今回の検討は、単に市庁舎を建て替えるというだけの課題とは捉えていない。入口や周辺道路環境も含めた検討が必要と考えており、今後検討したい。
議長	敷地整理をするというのではないのか。市役所への道は通過道になっているので、あまり良くない。資料の表現だと、今の敷地だけと捉えられ、周辺環境の形状変更などが考えられない。道路面積と公園面積を変えなければよく、道路の一部付け替えや公園の形状を少しだけ変えられることを含む表現にできないか。
委員	安心・安全という話があったが、水害も考慮する必要がある。この敷地を前提とすることは賛成だが、防災拠点としてどれほどの機能を求めるかを踏まえて検討する必要がある。
事務局	基本構想を策定する際に、基本構想の 20 ページにあるとおり、地域防災計画を考慮して現庁舎敷地周辺とした。ハザードマップから駅周辺と比べて現庁舎敷地周辺の方が比較的安全だと考え、現庁舎敷地周辺とした。水害については建物の方でも工夫できる部分があると考えているので、考慮しながら検討していきたい。
議長	防災については色々な角度から考える必要がある。現在の公園中央にある水やステージのような部分はほとんど使われていないように見え、時代に即していない部分がある。大きな広場をつくることにより緊急時のヘリポートとなるなど、日常的な利用と災害時の利用を考慮したりリニューアル計画も検討する必要がある。
委員	A-1 が望ましいと思っている。メセナと庁舎の間の道路を無くしてメセナ・庁舎・公園を一体的に考えたとき、庁舎とメセナが近くなるため利便性が高まる。2 期工事に保健センターをはじめ市民が望まれる売店・カフェなどの商業施設をメセナの近くにつくことも考えられる。駐車場が一体で確保でき、市民まつりなどの各種イベントの会場や緊急時のヘリの離発着にも利用できるのではないか。一方、B 案のように公園を敷地と考えたときに、3 方が住宅・電線に囲まれていて窮屈である。敷地面積も 4,000 m ² ほど狭い。集約化し、建物が高層化すると、周辺へ日影が影響し、植栽計画の点からも敷地中心に建てざるをえなくなり、配置計画の自由度が小さい。祭りやイベント会場に利用できる広さが確保できず、緊急車両やヘリポートとしても狭いのではないか。
議長	公園につくった方がいいという意見はないようである。現庁舎敷地を基本とするということのようである。ただし、これだけで決定はできない。例えば保健センターが集約化されることを考えると、低層部に必要な機能が多くなることが考えられる。公園敷地を一部使った方がいい場合も考えられる。具体的なケーススタディを踏まえて決定すべきである。最初から庁舎と公園が一体的にうまく使える計画とすればよりよくなる可能性があるため、現庁舎敷地だけで考えるべきではない。この敷地の形状だけで考えるのではなく、将

	来的なシビックセンターとしての役割も見据えながら柔軟に考えていく必要がある。
委員	公園・メセナ・庁舎を一体で考えた方がいい。現在の公園は木が多く見通しが悪い。この時間なのに子どもが遊んでいない。スポーツをしている人もいない。庁舎と公園の間を自由に行き来できることや、防災公園のようにするなど、敷地ごとに切り分けるのではなく、どういう公園とするのかも含めて考えていった方がいい。場所の決定に向けて、配置案をいくつか出してもらって決定した方がいい。例えばA-1案の駐車場を西側にもっていくとメセナ利用者も駐車場が利用しやすい。A案とB案を比べるとA案の方がいいと思っている。
委員	市役所通りを市役所へのメインだと考えているが、市役所の周りを囲っている道路はあまり有効な計画ではない。周りの道路まで含めて自由に道路付を変える発想をすれば改善されるのではないか。東側をメインの入口とすれば庁舎とメセナは一体とすることが出来る。
委員	市役所より北側に住んでいるが、駅に行くには市役所通りを通るのが一番早い。通れなくなると利便性が低下するため、北側から駅への自動車動線も考慮してほしい。
委員	少し工夫すれば利便性は向上する可能性がある。交通網が不便な状態になっているのは別に考えていかなければいけない。
議長	100%全員が納得できる案はないが、優先順位をつけながら検討漏れがないように進める必要がある。 「現庁舎敷地を新庁舎建設候補地として定める」といった表現であると、今の敷地形状を変えないと勘違いされるかもしれないので、周辺道路の拡幅等を考慮して少し修正し、当審議会としては「新庁舎建設候補地は現庁舎敷地を基本とする。」といった考えとしたい。

5 その他

事務局	次回の審議会については、10月26日（金）の14時からとさせていただきます。
-----	--

6 閉会

(以上)